

令和6年度 第64回 大学院セミナー

令和7年 1月 27日

| | |
|---------------------------------------|--|
| 分野名 Area of Research (責任者名)(内線) | 呼吸器内科学分野 責任者名(迎 寛) 内線(7273) |
| 演 題 Title | 蛍光イメージングと電気抵抗値を用いた <i>Aspergillus fumigatus</i> と細胞・抗真菌薬の in vitro リアルタイム評価 |
| 講師等 Presenter | 大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学 掛屋 弘 先生 |
| 概要 Abstract | <i>A. fumigatus</i> は血液疾患等の免疫抑制患者に発症する深在性真菌症の原因真菌である。我々は蛍光イメージングと電気抵抗値を用いることで糸状菌の成長と細胞障害を連続的にモニタリングできる機器(xCELLigence eSight(Aglient社))を利用して、マクロファージ(Mφ)および肺胞上皮細胞と真菌、抗真菌薬との相互作用を評価した。抗真菌薬無添加ではMφは約24時間、上皮細胞は約48時間で電気抵抗値の低下が始まるが、電気抵抗値の低下は細胞接着面からの遊離もしくはタイトジャンクションの崩壊を示唆しており、糸状菌による細胞障害の定量化に成功した。真菌存在下でもMICを超えるVRCZの添加により電気抵抗値は高値を維持し、細胞の生存が示唆された。また、発色 <i>A. fumigatus</i> を使用することで、真菌の破壊と細胞の生存状況を記録することができた。一方、MICを超えるL-AMB添加ではVRCZ同様の結果が得られたが、高用量L-AMB添加では電気抵抗値の早期低下が認められ、薬剤による細胞死が示唆された。各種抗真菌薬のデータを評価する。 |
| 開催日時 Date and Time | 令和7年 1月 27日(月) 13:00 ~ 14:00 |
| 開催方法 Online/Face to face | 対面: 医局棟9F ゼミ室大 |
| 備 考 Notes | セキュリティカード不所持、場所が不明な方は、以下までお問合せください。 第二内科医局 : 内線 7273 受付担当者: 岩永直樹 Email: niwanaga@nagasaki-u.ac.jp |

- 先端医療科学特論(基礎編)
- 先端新興感染症病態制御学特論
- 日本語(Japanese)
- 対面(Face to face)

- 先端医療科学特論(臨床編)
- 先端放射線医療科学特論
- 英語(English)
- オンライン(Online)